

元気高齢者の活躍促進に関する調査

調査の目的 高齢社会における就業者社会参加などに対する考え方を調査します。

調査期間 平成28年2月19日から平成28年2月29日まで（11日間）

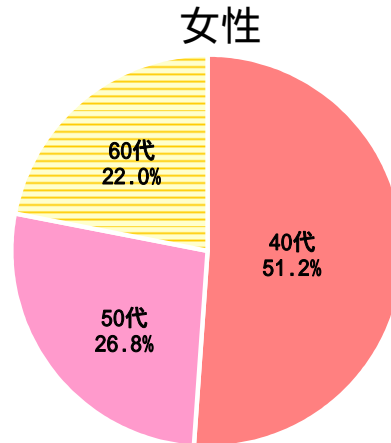
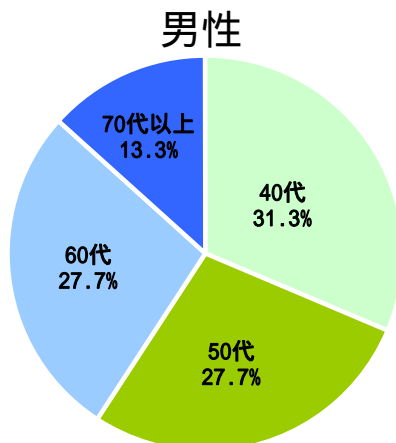
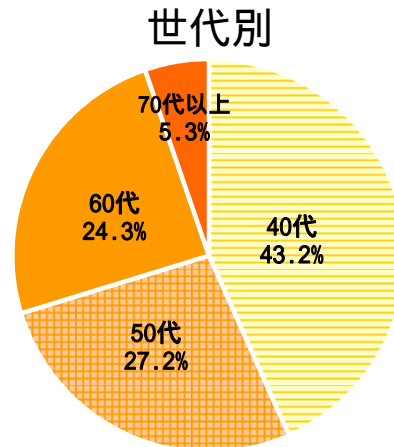
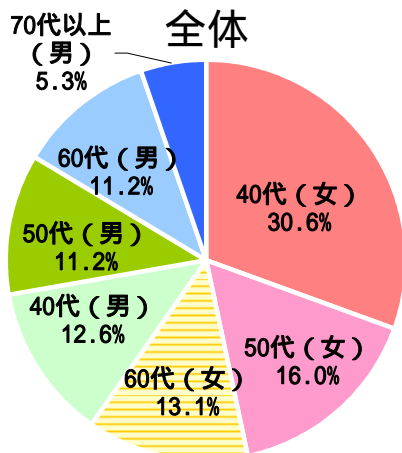
調査対象 ながさきWEB県政アンケートの登録モニターのうち、
40代以上の方（244人）

回答状況 206人（回収率84.4%）

調査担当課 長崎県長寿社会課

基本属性

	全体	割合	男性	割合	女性	割合
40代	89人	43.2%	26人	12.6%	63人	30.6%
50代	56人	27.2%	23人	11.2%	33人	16.0%
60代	50人	24.3%	23人	11.2%	27人	13.1%
70代以上	11人	5.3%	11人	5.3%	0人	0.0%
計	206人	100.0%	83人	40.3%	123人	59.7%



アンケート結果

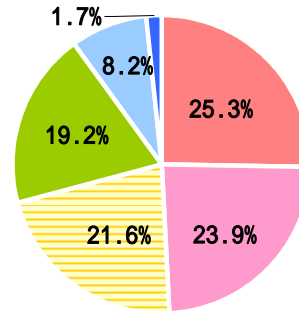
(注意) 端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

(注意) 割合は、回答数計(無回答を含む)に占める割合を表しています。

Q1 高齢(概ね65歳以上。以下同じ)となって望むことは何ですか。(複数選択可)

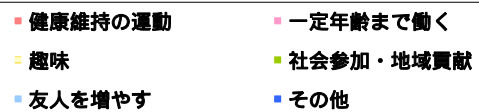
端数処理のため構成比が100%にならない。

選択肢	回答数	割合
健康維持の運動	132	25.3%
一定年齢まで働く	125	23.9%
趣味	113	21.6%
社会参加・地域貢献	100	19.2%
友人を増やす	43	8.2%
その他	9	1.7%
計	522	99.9%



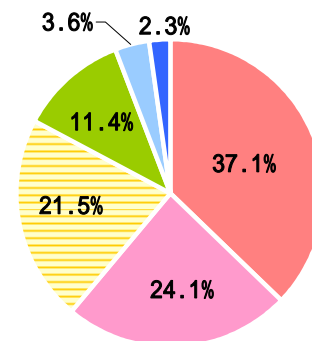
その他の主な内容

- ・大学などで学ぶこと。
- ・お金や住居の心配がないこと。



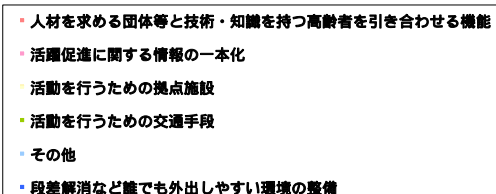
Q2 高齢者の活躍促進に必要な社会的基盤は何だと考えますか。(複数選択可)

選択肢	回答数	割合
人材を求める団体等と技術・知識を持つ高齢者を引き合わせる機能	114	37.1%
活躍促進に関する情報の一本化	74	24.1%
活動を行うための拠点施設	66	21.5%
活動を行うための交通手段	35	11.4%
その他	11	3.6%
段差解消など誰でも外出しやすい環境の整備	7	2.3%
計	307	100%



その他の主な内容

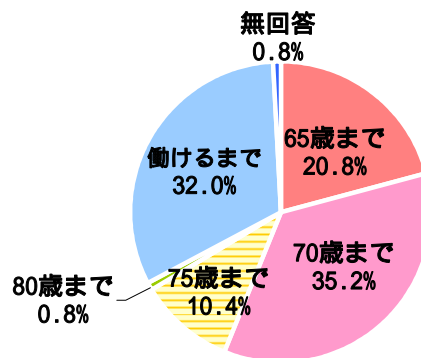
- ・経済的に安定していること。
- ・働く場があること。



【就業について】

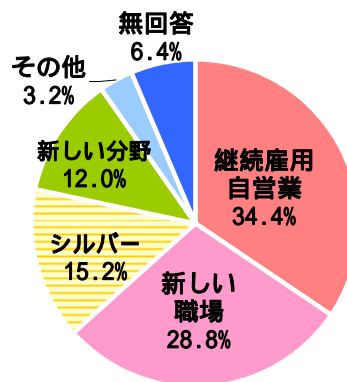
Q3 高齢となって、何歳くらいまで仕事をしたいですか。
(Q1で「一定年齢まで働きたい」と回答した125人のみ回答。)

選択肢	回答数	割合
65歳まで	26	20.8%
70歳まで	44	35.2%
75歳まで	13	10.4%
80歳まで	1	0.8%
働けるまで	40	32.0%
無回答	1	0.8%
計	125	100%



Q4 高齢となって、どのような仕事を望みますか。
(Q1で「一定年齢まで働きたい」と回答した125人のみ回答。)

選択肢	回答数	割合
継続雇用、自営業の継続	43	34.4%
技術を活かせる新しい職場	36	28.8%
シルバー人材センター	19	15.2%
新しい分野	15	12.0%
その他	4	3.2%
無回答	8	6.4%
計	125	100%

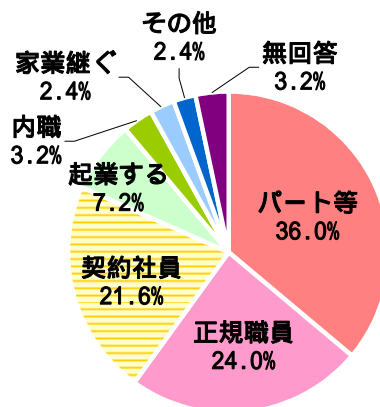


その他の主な内容

- ・軽作業。体力等に応じた仕事しかできない。
- ・有償ボランティア、地域活性化の担い手。

Q5 どのようなかたちで仕事をしたいですか。
(Q1で「一定年齢まで働きたい」と回答した125人のみ回答。)

選択肢	回答数	割合
パート・アルバイト	45	36.0%
正規職員	30	24.0%
契約社員	27	21.6%
起業する	9	7.2%
内職	4	3.2%
家業を継ぐ	3	2.4%
その他	3	2.4%
無回答	4	3.2%
計	125	100%

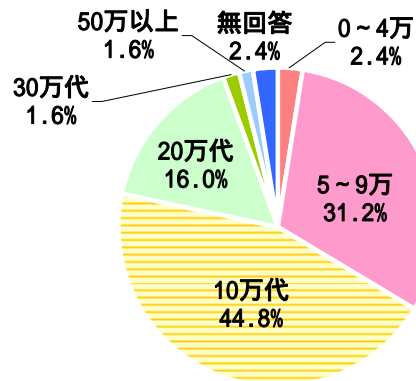


その他の主な内容

- ・可能な間は正規職員、体力などを考えながら徐々にパート等にシフトしていくのが理想的。

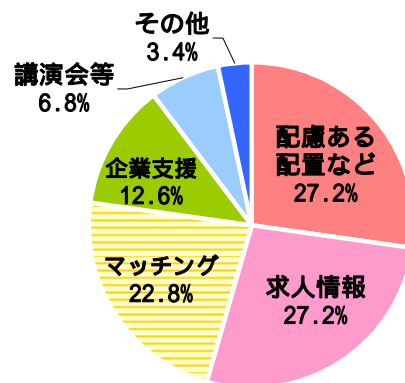
Q6 この仕事からの月収または収益はどれくらいを望みますか。
 (Q1で「一定年齢まで働きたい」と回答した125人のみ回答。)

選択肢	回答数	割合
0～4万円	3	2.4%
5～9万円	39	31.2%
10～19万円	56	44.8%
20～29万円	20	16.0%
30～39万円	2	1.6%
40～49万円	0	0.0%
50万円以上	2	1.6%
無回答	3	2.4%
計	125	100%



Q7 高齢者の就業促進に何が重要だと考えますか。(全員回答)

選択肢	回答数	割合
企業等における体力等に応じた多様な仕事・役割への配置	56	27.2%
高齢者専用の求人情報	56	27.2%
個人の技術や知識と企業等が欲する人材を引き合わせる機能	47	22.8%
高齢者雇用企業を支援する補助金などの制度	26	12.6%
講演会や研修会などによる働くことへのきっかけづくり	14	6.8%
その他	7	3.4%
計	206	100%

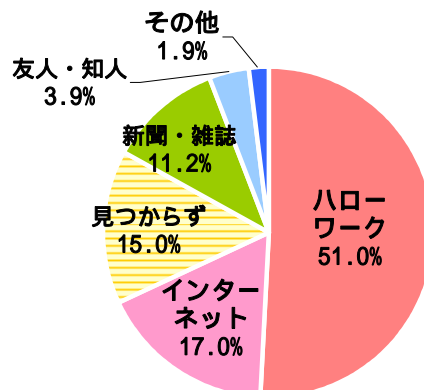


その他の主な内容

- ・高齢者が働く必要はない。
- ・高齢者が働ける環境づくり、社会づくり。

Q8 就業を考えた場合、どこで情報を入手しますか。(全員回答)

選択肢	回答数	割合
ハローワーク・県就業支援センター	105	51.0%
インターネット	35	17.0%
高齢者の求人情報はなかなか見つからない	31	15.0%
新聞・雑誌の求人情報	23	11.2%
友人・知人	8	3.9%
その他	4	1.9%
計	206	100%



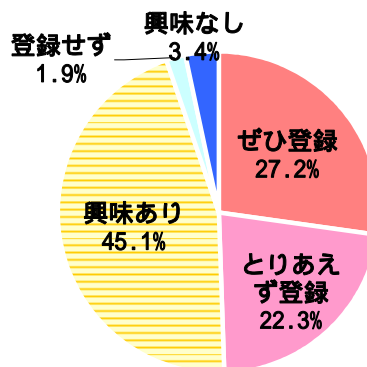
その他の主な内容

- ・元職場からの情報。
- ・高齢者専用の求人情報誌を作ってほしい。

Q9 個人の持つ技術や知識と、企業が欲する人材を引き合わせる「人材バンク」があれば登録したいですか。（全員回答）

端数処理のため構成比が100%にならない。

選択肢	回答数	割合
ぜひ登録したい	56	27.2%
とりあえず登録したい	46	22.3%
興味はある	93	45.1%
登録しない	4	1.9%
特に興味はない	7	3.4%
計	206	99.9%

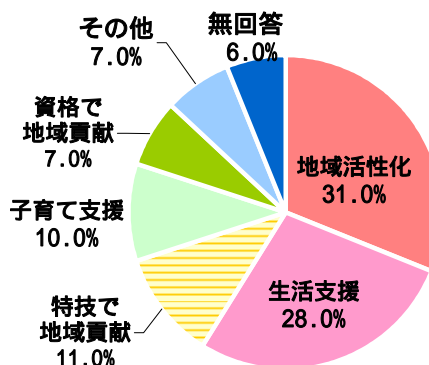


【社会参加について】

Q10 あなたは、どのようなことに貢献できると思いますか。

（Q1で「社会参加・地域貢献」と回答した100人のみ回答）

選択肢	回答数	割合
イベント実施など地域の活性化	31	31.0%
地域の助け合いによる高齢者等の生活支援	28	28.0%
楽器演奏などの特技を生かした地域貢献	11	11.0%
若いお母さんの子育て支援	10	10.0%
通訳、審判員などの資格を活用した地域貢献	7	7.0%
その他	7	7.0%
無回答	6	6.0%
計	100	100%



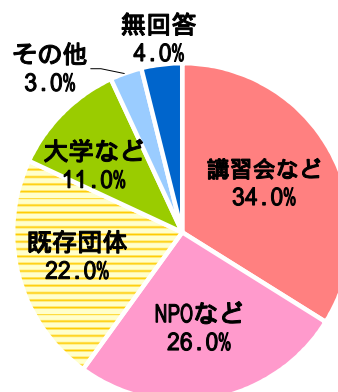
その他の主な内容

- ・ボランティア。
- ・行政の附属機関などの委員としての地域貢献。

Q11 社会参加のために入会したい団体や参加したい活動は何ですか。

（Q1で「社会参加・地域貢献」と回答した100人のみ回答）

選択肢	回答数	割合
地域貢献を行うための人材登録や講習会	34	34.0%
NPOなどボランティア団体	26	26.0%
老人クラブなど既存の団体	22	22.0%
生涯学習講師となるための大学など	11	11.0%
自治会	0	0.0%
その他	3	3.0%
無回答	4	4.0%
計	100	100%

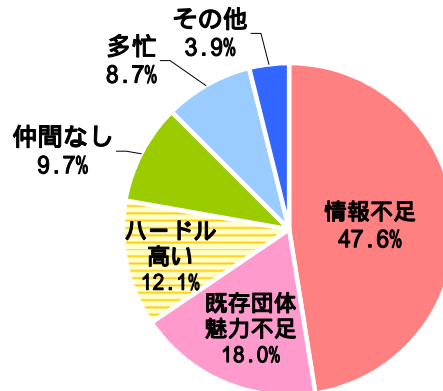


その他の主な内容

- ・特にどこかに所属したいとは思わない。
- ・長く雇用してくれるところ。 ・気軽に参加できるような近所の集まり。

Q12 社会参加の壁は何だと思いますか。（全員回答）

選択肢	回答数	割合
情報不足	98	47.6%
既存団体等の魅力不足	37	18.0%
ハードルの高さ	25	12.1%
一緒に活動する友人等がない	20	9.7%
仕事が忙しい	18	8.7%
その他	8	3.9%
計	206	100%

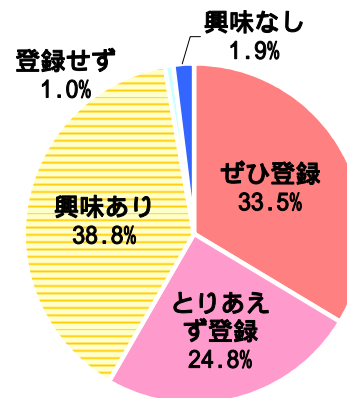


その他の主な内容

- ・企業側の受け皿がない。
- ・関心がない。
- ・組織に縛られたくない。

Q13 資格や特技を生かして、相応の報酬を受け取りながら行うことができる社会参加活動を紹介する人材バンクがあれば登録・活用したいですか。（全員回答）

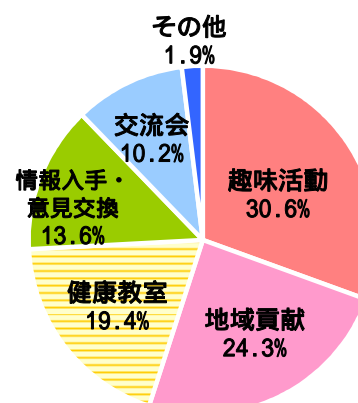
選択肢	回答数	割合
ぜひ登録したい	69	33.5%
とりあえず登録したい	51	24.8%
興味はある	80	38.8%
登録しない	2	1.0%
特に興味はない	4	1.9%
計	206	100%



【生きがいづくりについて】

Q14 地域にどのような活動を行う拠点があれば参加したいですか。（全員回答）

選択肢	回答数	割合
趣味の活動	63	30.6%
地域貢献活動	50	24.3%
健康教室	40	19.4%
市町の情報入手や意見交換など	28	13.6%
食事や会話など交流会活動	21	10.2%
その他	4	1.9%
計	206	100%

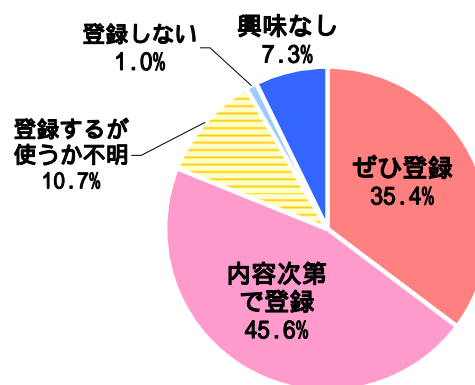


その他の主な内容

- ・正職員で働けるような拠点。
- ・気軽に参加できるような拠点。
- ・人とのつながりを感じられるような拠点。

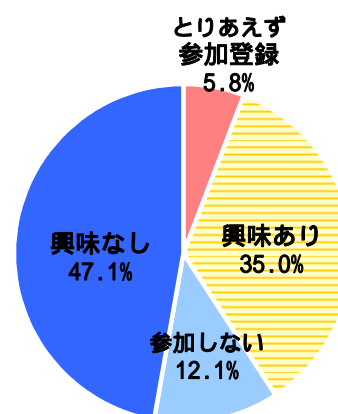
Q15 高齢者が協賛店舗に登録カードを提示すると、協賛店舗が設定した価格割引や協賛店のポイント加算等のお得なサービスを受けることができるカードがあれば、登録したいですか。（全員回答）

選択肢	回答数	割合
ぜひ登録して使用したい	73	35.4%
内容によっては登録したい	94	45.6%
登録はするが、使用するかはわからない	22	10.7%
外出はあまりしないので登録しない	2	1.0%
特に興味はない	15	7.3%
計	206	100%



Q16 高齢となって、単身高齢者の男女めぐりあいイベントがあれば参加したいですか。（全員回答）

選択肢	回答数	割合
ぜひ参加したい	0	0.0%
とりあえず参加登録したい	12	5.8%
興味はある	72	35.0%
参加しない	25	12.1%
特に興味はない	97	47.1%
計	206	100%

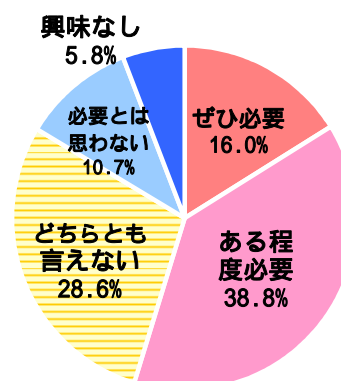


【その他】

Q17 生きがいづくりや暮らしの維持のために、インターネット上での人とのつながりが必要だと考えますか。（全員回答）

端数処理のため構成比が100%にならない。

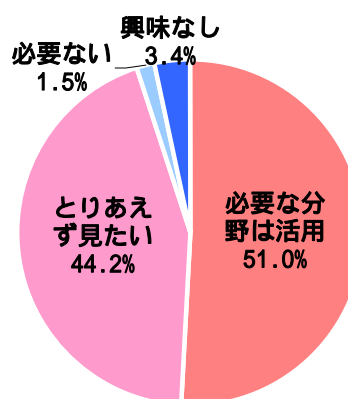
選択肢	回答数	割合
ぜひ必要だ	33	16.0%
ある程度必要だ	80	38.8%
どちらとも言えない	59	28.6%
必要とは思わない	22	10.7%
特に興味はない	12	5.8%
計	206	99.9%



Q18 就労、社会参加、生涯学習、医療、介護など高齢者に関する情報の総合サイト（ホームページ）があれば活用したいですか。（全員回答）

端数処理のため構成比が100%にならない。

選択肢	回答数	割合
必要な分野については活用したい	105	51.0%
とりあえず見たい	91	44.2%
必要ない	3	1.5%
特に興味はない	7	3.4%
計	206	101%



Q19 元気な高齢者が地域社会で活躍することを促進するために必要と考えるものなどについて、ご意見やご提案があれば記載ください。

主なもの

- ・就業・地域貢献ともに、どんな求人、団体、活動があるのか、誰でも確認できる情報化が必要（17件）
- ・企業や地域の困っている人と高齢者を結びつけるマッチング機能（10件）
- ・高齢者が外出するには、交通機関が重要。また、交通機関がないために車を運転せざるを得ない状況の改善が必要。（8件）
- ・高齢者と若い世代との交流を増やし、互いに理解を深めたり知識を深めたりすること。（5件）
- ・高齢者による子育て支援。
- ・金銭面で不安がない生活ができること。
- ・企業側の体制づくり。
- ・定期健康診断や健康体操教室などで健康の維持を支援すること。
- ・高齢者向け職業訓練を充実させる。雇用の場を広げる。
- ・地域での人付き合い。趣味の集まり等何らかの集団に参加すること。
- ・草刈りなどの地域活動を有償ボランティアとしてやってもらうこと
- ・気軽に参加できる雰囲気づくり、興味がある活動のお試し体験。
- ・活動するための基礎知識を得る。情報機器の使い方講座など。

（各4件）

（各3件）

世代別・男女別で比較したところ、特徴的だった結果について

《全般的な事項》

- ・ Q1（高齢となったときに望むこと）を男女で比べてみると、男性は「一定年齢まで働きたい」（28.5%）、女性は「健康維持のための運動」（28.1%）が1位となっており、傾向が分かれていた。
- ・ 世代別に比べてみると、「一定年齢まで働きたい」と回答した人では、50代のうち30.2%が選択しており、他の世代に比べて割合が高かった。

《就業》

- ・ Q7（就業促進に重要なこと）では、特に60代が「高齢者専用の求人情報」を選択した方が34.8%を占めるなど情報不足を感じていると考えられる。

《社会参加》

- ・ Q12（社会参加の壁は何か）では「情報不足」が47.6%で高率となっているが、60代は既存団体の魅力不足30.4%と情報不足34.8%で同程度だった。

《生きがいづくり》

- ・ Q14（どのような拠点があれば参加したいか）では1位の「趣味の活動」（30.6%）を選択した割合が各世代ともに30%を超えており、最も高かった。

《インターネット》

- ・ Q17（インターネット上での人とのつながりは必要か）では、必要と考えている方が各世代ともに半数を超えていたが、男女別で比較すると、男性のほうが必要と考えている割合が67.5%と高かった。